

触手通販、ただいま配信中！

プロローグ

「んしょっと」

「えーっと、カメラはこれでいいかな？　ちゃんと見えてるー？　……ん、大丈夫そうだね」

「みんなようこそ！」

「ギャル子ちゃんのおもちゃの時間だよー！」

「来てくれてありがとね！」

「今日はね、視聴者さんから送られてきた触手通販の初心者セットっていうのを試してみようと思いまーす。送ってくれた人ありがとねー」

「アタシ触手とか初めてなんだけど大丈夫かなー？　ま、初心者セットだしなんとかなるよね」

「ここからハマっちゃうかも。へへっ、実は楽しみにしてたんだー」

「通販ページがあるんだけど URL の公開は NG っぽいから気になった人は頑張って探してみよう」

「んじゃ、今日もギャル子ちゃんていっぱいシコってね！」

シーン1

「まずは箱開けてみるねー んしょっと」

「えー、なにこれー」

「ふむふむ……そのまま入ってるんじゃないかとお湯にこの触手の素を入れると生えてくるんだー。って、もうボウルにお湯用意してるんだけどねー、へへっ」

「でも、これただの棒に見えるよね。うーん、バナナと同じくらいの大きさ？」

「これがどう触手になるんだろ。とりあえず入れてみるね。本当にこんなんでできるのかなー……」

「うおっ、すごいすごい」

「これ見えてるかなー」

「なんかね、棒からうねうねしたのが生えてきてる」

「うわー、確かに触手っぽい。色もどんどん変わって緑になってる」

「きもーい」

「でも、うねうね成長して大きくなる感じはかわいいかも」

「うん、グロかわいい」

「……えー、かわいいじゃんかー」

「そろそろいいのかな。取り出してみるね」

「じゃじゃーん、触手のかんせーい」

「これどうやって使ってこうかなー」

「……あ、「基本童貞」くん、投げ銭ありがとっ」

「なになに、「Tシャツは着たまま触手パイズリお願いしますー!」」

「服着たままとかマニアックだねーいいいいよ。この触手くんね、机に置くと……ほら、固定されるの。便利だよねー。パイズリもしやすい」

「それにさ、触手くんぬるぬるしてきたでしょ？ 勝手にローションを吹き出してくれるんだって、すごいよね」

「んじゃ、パイズリしてくよ」

「みんなにしてる感じになるようにマイク置こうかな。んじゃアタシがオナってるところよく見ててねー」

「んっ、んっ、んっ、んうっ……Tシャツ着てるけどノーブラなんだ。だから触手くんの感触はしっかり伝わってくる」

「んっ、んうっ、んっ、んふっ……ローションもちゃんとしたやつでね、とろとろしててパイズリしやすいし。おっぱいもヌルヌルになって気持ちいいよ」

「んっ、んうっ、はあっ、んっ、んんっ……へへっ、ローションで乳首透けちゃってる。ほら、みんながだーい好きなギャル子ちゃんの乳首だよー」

「ちゃんと透けそうな」シャツにしたんだからいっぱいシコってよ。んうっ、んっ、んっ、んんっ、んうっ、んんっ……おちんぼってパイズリするとどんどん大きく太くなってエロくなってくじゃん？」

「触手くんもだんだん固くなってきてるみたいで……んっ、んんっ、んうっ、んっ……きゅっ♡ ピクピクっうごくのかわいい♡」

「んっ、んんっ、んっ、うっ、んっ……触手くん、我慢汁の匂いあんまりかな。すんすん、ローションの匂いがちょっとするくらい」

「んんっ、んうっ、んっ、んっ、んはあっ、んっ、んうっ……でもね、この触手くん程度な硬さどぶにぶに弾力があって楽しい。それにおっぱい動かすと触手がポコポコって当たっていい感じ。触手くんっておまんこに使うものかと思ってたけど、おっぱいでも楽しめる」

「んっ、んうっ、んっ、んっ、んうっ、うっ、んうっ……」

「……んー？ 太さか普通のおちんぼよりは太いよ。アタシのおっぱいで挟みきれてないし」

「んっ、んんっ、んっ、んんっ、んうっ……ははっ、みんなオレの方が太いって言うてる。本当かよー」

「そんなに立派なおちんぽならオナニーしてないでおまんこに挿れた方がいいんじゃないのー？ んっ、んうっ、んっ、んっ、んうっ……冗談だよ。みんな、いつもアタシでシコってくれてありがとね、嬉しいよ」

「ふふっ、みんなに見られると興奮しちゃうから彼女できてもアタシのこと使ってよね」
「んんっ、んうっ、んんっ、んっ、んんっ、んうっ、んっ、んんっ……」

「……パイズリフェラ？」

「いいよ、やってあげる」

「れろっ、れろっ、れろっ、れろっ、れろっ……お願いしてきたんだからアタシのフェラ顔じっくり見ておちんぽいじってよーれろっ、れろっ、れろっ、れろっ、れろんっ……」

「カメラ見てみんなのおちんぽ舐めてるみたいにしてあげる」

「どう？」

「アタシにパイズリフェラされて……エロかった？」

「よかった」

「……え、もう出ちゃったの早いよー」

「でもありがとうね。まだまだ配信続くから何発でもザーメン出しちゃってねー」

「ひゃあっ、えっ、なにこれ。急に触手がうねうね動きはじめたんだけど、あっ、あっ、あっ、あっ……触手が乳首責めてきたっ」

「んうっ、うっ、うあっ、あっ、ああっ……にゆるにゆるって乳首に絡みついてくる。しゃぶられてるのとも、指でいじられてるのとも違うよお、はあっ、あっ、あんっ、あっ、ああんっ……」

「気持ちいいっ」

「触手くんすごい」

「あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、ああんっ……」

「しかも吸い付くの。乳首にちょっとくっついてから離れて、それが結構いい。あっ、はあっ、あっ、あっ、ああんっ、んはあっ……」

「シャツが透けて、動きがわかっちゃう？ん♡あたしの乳首♡こねくり回されてるの♡……だよね、これすごくエロい動きだよね。見るだけでも興奮しちゃうよね」

「あっ、あっ、ああっ、はあうっ、んううっ……」

「これ、触手にずっと乳首でうねうねされて、ずっと気持ちいいんだけど。んうっ、ああっ……強く絡みついてきたり、まったりになったりで……ああっ、ああうっ……緩急つけてくる」

「んっ、んううっ、んはあっ、ああっ、ああうっ……」

「触手くん、乳首責め上手すぎだよお。乳首、ガッチガチに勃起しちゃったあ。はあっ、んっ、んっ、んうっ、んううっ……」

「やばい、これ」

「イっちゃいそう」

「乳首だけでイクことなんてないのに。はあっ、ああっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、ああ
んっ……初めて胸だけでイカされちゃう」

「一緒に精子出したい人は準備してっ。ううっ、んううっ、ああっ、はああっ、ああうっ、
んううっ、ああんっ……」

「くるっ、くるっ、きちやう」

「イクよ」

「本当に乳首だけでイカされちゃう」

「乳首イキするところ見てて」

「んっ、んふうっ、ああっ、あっ、あっ、あっ、んあああっ！」

「んぷっ、あっ、ああっ」

「嘘、触手くんが精子出してっ」

「ああっ、ああっ、顔射されてイクっ、イっちゃううううう……!!」

「あっ、あうっ、うっ、ううっ、んうっ……」

「乳首、気持ちいい……」

「……あつ、みんな投げ銭ありがとー精子ピュッピュしてくれたんだ」

「ギャル子ちゃんの初めての乳首イキはどうだった？ エロかったかな？」

「……へへっ、精子いっぱい出たんだね。でもでも、今日はここで終わりじゃないよ。実はカメラ2台用意してるの」

「じゃーん」

「アタシのパンツが見えるようにしたんだーほーら、足開くとよく見えるでしょー？」

「……えっ、あ、本当だ。パンツにシミできてるね、へへっ。ほーら、マン汁でぐっしょりぬちよぬちよのパンティーだよー」

「で、なんでこんなカメラがあると思う？ なんと、このままおまんこでも触手くん使っちゃいます。出しちゃった男の子は急いでまたおちんぽ勃起させて。ギャル子ちゃんのリスナーなら二連発くらいユーだよー」

「んしょっと」

「触手くんを外して、椅子につけるて……素股みたいな感じで」

「いくよー」

「んっ、んっ、んうっ、んっ、んあっ、あっ……おっぱいもよかったけどやっぱりおまんこに使う方が好きかも。んっ、はあっ、あっ、はあっ、あっ、あんっ、ああっ……」

「触手がおまんこを撫でるの、気持ちいいっ」

「んあっ、あっ、んんっ、んっ、んうっ、ああっ……よく使うデイルドよいい。
んっ、んっ、んうっ……触手でオナるのにハマっちゃいそう」

「んっ、んあっ、あっ、ああっ、ああっ、ああうっ……お汁びゅっぴゅっつとどびちっちゃう
♡でも、触手くんが邪魔して、おまんこ見れないねーへへっ、残念でしたー」

「あうんっ、んんっ、んあっ、ああっ、あっ、あっ、あんっ……おまんこの中ね、さっき
イカされちゃったからぐっちゅぐちゅになってる」

「クリちゃんも勃起しちゃってね、触手くんに擦れるのめっちゃいい、はあっ、ああっ、
ああっ、ああうっ、んんっ、んううっ、ああんっ……」

「いえーい！ 写ってる？ 触手くん、やばいね♡ 実況忘れちゃいそう、んっ、んはあ
っ、ああっ、ああうっ、んっ、んううっ……」

「……あっ、ちゃんと残念がってくれてる男の子もいる」

「へへっ、ありがとー喘ぎ声とおまんこ見て、アタシのエロい顔想像しながら、シコシコ
して気持ちよくなってね。ああっ、ああうっ、んんっ、んはあっ、ああっ、ああっ、ああ
んっ……」

「あっ、触手が……んううううっ。あっ、あっ、あっ、ああっ……クリ責めてきたっ。あ
あっ、ああうっ、ううっ、んううっ、はあんっ……」

「いいっ。強すぎないし、優しくクリいじってくる。触手くんクリ責め(せめ)も上手なの」

「んんうっ、ああっ、ああっ、あはあっ、ああうっ、んううっ、ああっ、ああっ、ああん
っ……すごいっ、ああっ、ああっ、ああうっ、ああんっ……腰勝手に動いちゃう」

「んううっ、はああっ、ああうっ、んああっ、ああんっ……」

「クリ気持ちいいっ。うねうね動いてておまんこも一緒に責められてる。はあっ、ああっ、
ああうっ、んんっ、んああっ……」

「ここ弱い、クリも、おまんこの入り口もお。ああっ、あはあっ、ああっ、ああうっ、
んんっ、んああっ……」

「……もう出ちゃいそうな男の子多いね。へへっ、アタシもなんだ」

「もう我慢できなさそう、最後に触手くん、おまんこに挿れるね。触手くん伸びてこんな
に長くなってる、全部入るかなー見ててねー」

「腰降ろしてくよ。ううっ、ああっ、ああうっ……入ってくる、触手くんにゆるにゆる動
きながら入ってくる」

「んうっ、はあっ、ああっ、ああんっ……」

「んおおっ、んうううっ……」

「奥まで入れちゃったあ」

「はあ、はあっ……あっ、あっ、あっ、んっ……ああんっ……」

「これすごいぞ」

「クリにくつついたまま責めてくる触手と、おまんこの中でぐちゅぐちゅ責めてくる触手に分かれてるの。ああっ、ああうっ、んんっ、んああっ……」

「このままでもイケそうだけどみんなのために腰振っちゃうよ、触手くん、おまんこから出し入れするね。んおおっ、おっ、ああっ、ああっ、ああうっ、んんっ、んううっ……」

「触手くん気持ちいいっ」

「先っぽも硬くなって、奥にぶつかるのもいいの、んああっ、はああっ、あああっ、ああんっ……おまんこの一番奥にめり込んでいるみたいになってるのっ、あっ、あっ、あっ、ああうっ、んああっ……触手くん太くて、ただでさえおまんこ、広げられちゃってるのに」

「おまんこのお肉、触手でうねうねされてクリも責めてくるし、奥もガツガツ突き刺してくる。ううっ、んううっ、ああっ、はああっ、ああっ、ああんっ……」

「おまんこ全部責めてくるとかすごいすぎだよ、んはああっ、ああうっ、ああっ、あんっ……」

「……」「こんなぐちゅぐちゅの、ギャル子ちゃんのまんこ、見たことない」

「そうだよね」

「アタシもここまで感じたの初めてかもお、ああっ、はあっ、ああっ、ああうっ、ああんっ……いくっ、いっっちゃう」

「連続でイカされちゃう」

「みんなも2発目出してね、はあっ、ああっ、ああっ、あんっ……あれ、触手が伸びてきた。きゃうんっ、ああっ、ああっ、ああんっ……嘘でしょ、乳首まで来たっ」

「ああっ、あっ、あっ、あっ、ああうっ……」

「乳首チューチュー吸われてる、はあっ、ああっ、ああっ、ああうっ……みんな、ごめん」

「もうイっちゃう、あっ、あっ、あっ、あうううっ……いくっ、いくっ、いくっ、うううううううう……！」

「フウー、フウッ……ああうっ……」

「おまんこの中でセーシ出てる、タシ、触手くんの中出しされてるうううううう……んはああっ、はあ、はあ、はあ、ふう……触手くん止まっちゃった」

「あー、稼働時間かー。へへっ、こんなトロ顔しちゃってたんだー」

「じゃあ、最後に投げ銭のお礼を……白ギャルより黒ギャルさん、投げ銭ありがとー」

「2発も出しちゃった！ 今日もギャル子ちゃんエロかったよ」

「ギャル子で2発もザーメン出してくれてありがと。みゃーこちゃん、投げ銭ありがとー」

「わたしも触手くん買ってみます」

「女の子も見てくれてたんだ。ありがとね」

「ぜひ触手くん試してみて、イキすぎちゃうから気をつけて」

「初心者さんはゆっくり使ってみてね」

「でも、アタシの配信見てるってことはみゃーこちゃんも結構エツチなんだよね、へへっ」

「みんなありがとうねー」

「いないと思うけど、まだチャンネル登録していない人はちゃちゃっとしてねー」

「じゃあ、またねっ」

「ギャル子ちゃんのおもちゃの時間、今日はここまでー」

「バイバーイ」